19万人のひろば

八千代市イメージキャラクター「やっち」

日本文化を通じて絆を深める

タイラー市から親善訪問団が来日

八千代市とアメリカ合衆国タイラー市は、平成４年に姉妹都市提携を結び、親善訪問団の派遣と受け入れを行っています。これまで八千代市からは９回、タイラー市からは７回の親善訪問団が互いの市を訪問。このほか、八千代少年少女合唱団がタイラー市を訪問したり、タイラー市選抜サッカーチームを「コミュニティワールドカップサッカーin八千代」に招いたりと交流を深めています。

７月11日～15日、タイラー市親善訪問団12人が八千代市を訪れ、11日は市役所を表敬訪問しました。「日本文化の体験などで、両市の絆をより一層深める機会になれば」と秋葉市長。訪問団からアメリカ合衆国の国会議事堂に掲揚されていたアメリカ国旗とその証明書をプレゼントされました。

12日、一行は香取市へ。歴史ある香取神宮や、小江戸の風情がある街並みに目を輝かせていました。13日のホームビジットをはさみ、14日はふれあいプラザで、着付けや茶道、書道などを体験。八千代高校では勇壮な鼓組の演奏を鑑賞しました。

このほか、一般参加者も含めたウェルカムパーティーやさよならパーティーなどで交流を深め、日本を満喫していました。

▲マーティン・ハインズ市長(右)からアメリカ国旗贈呈の証明書を受け取る秋葉市長

▲十二単(ひとえ)や大鎧(よろい)など９種類の衣装を体験

技術の普及と伝承のために

上総掘伝承の会が秀明大学で掘削

▶掘鉄管で地中を突き掘っていきます。作業は３分ごとに交替。目標は１日１メートル

上総掘りは明治時代に君津・木更津など上総地方で考案された井戸掘りの技術です。平成18年にはこの技術が国の重要無形民俗文化財に指定されました。身近な材料を使って、人力で深く掘れるため、開発途上国などの海外でも活用されています。市内で活動している上総掘伝承の会は、この技術の普及と後世への伝承のため、平成15年以降、米本城跡や新川わくわくプレーパークなど８か所で井戸を掘削しました。

今年２月からは秀明大学の構内で開始。毎週土曜・日曜日に同会のメンバー12人と秀明大学の学生約50人が作業を進めています。今回は深さ31メートルまで掘ることが目標。６月には28メートルまで到達しましたが、大雨で埋まってしまい６メートルまで戻ってしまいました。「２歩進んで１歩下がるくらいの気持ちで掘っています」と苦労を語る同会代表の冨永さん。完成した井戸は、大学での生態観察の場として利用される予定です。

花いっぱいのまちづくりを目指して

おおわだ朝顔会が展示会を開催

▲会員21人分のアサガオが並びました

７月27日、大和田時平神社の境内で朝顔展示会が開催され、らせん作り、行灯作り、切り込み作りなど60鉢のアサガオが見事に並びました。

おおわだ朝顔会が主催するこの展示会は、今回で13回目です。平成12年に大和田町会と大和田公民館で共催したまちづくり講座がきっかけで、おおわだ朝顔会が発足。展示会のほか、アサガオの苗の無料配布や大和田公民館前に棚を作るなど、「アサガオの花いっぱい運動」を行っています。「約70日後にきれいな花を咲かせるためには、土の水分量に気を遣います」と栽培の醍醐味を語る会長の村田さん。鉢植えの販売も行われた会場には109人が訪れ、にぎわいを見せていました。

ツイッター(Twitter)

防災情報・緊急情報などを発信しています

URL:http://twitter.com/yachiyo_shi

リサイクル・ガイド

消費生活センター ☎485-0559

●この欄のお問い合わせは消費生活センターへ。受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前８時30分から午後５時まで（午後４時～５時は☎483-1151へ）市内在住の人が対象です。企業・団体の利用はできません。

【あげます】▶カシオ製キーボード ▶パナソニック製除湿乾燥機（13畳用。取扱説明書有、箱なし） ▶学ラン（165～170㎝）

【ゆずります／有料】▶ビーチパラソル（新品） ▶ステップ台（健康器具。10～30㎝、可動式）

◆市役所１階ロビーのリサイクル品情報コーナーもご利用ください。また、同センターでは、食品の放射性物質検査（予約制）も行っています

八千代歌壇

佐波　洋子選

五十年仕舞ひ置きたる麻の蚊帳八人の声包みてゐたり　（大　和　田）飯名　好子

残雪のとけて流るる土手の辺にふきのとう萌ゆ板谷峠に　（勝　田　台）石垣　玲子

反撃や挑発もあり雑草にも芝生に顔出す必死の連鎖　（村　　上）新井　豊子

「甘酒」は夏の飲みもの本で知り明神(みょうじん)したの天野屋旨し　（八千代台北）若菜　欽子

「詩音」とうシャンソンの店たたまれて最後にピアノが吊られて去りぬ　（八千代台東）藤井　京子

水煙をぬけいで飛天の舞うごとく連子格子にいかるがの風　（八千代台北）森野　豊作

休耕の荒野過ぎれば車窓には白雲うつし早苗田広がる　（上　高　野）上岡あや子

湧き出でて岩肌濡らし流れ落つ川なき富士に白糸の滝　（ゆりのき台）池内きよ子

選評

一首目、麻の蚊帳という素材の懐かしさや、八人の家族の声にも時代感が伝わるが、その八人の声も諸共に畳まれていた半世紀の重さが迫る。二首目は「板谷峠」を初句に置くと韻律が張り、一首を引き締める。せっかくの固有名詞が付け足しになるのは惜しい。六首目、いかるがの里の連子格子窓に吹く長閑な風、それは塔の先端の水煙に彫られた飛天が抜け出して起している風だと捉えた歌。時空間を超えた大きさだけでなく、柔らかく繊細な発想が魅力。

■新しい選者に佐波洋子さん

７月15日号から「八千代歌壇」の選者が替わりました。新選者となった佐波洋子さんの歌歴、歌集は次のとおりです。

【歌歴】▼昭和51年／「まひる野」入会　▼昭和53年／歌誌「かりん」創刊により「歌林の会」入会。馬場あき子氏・岩田正氏に師事　▼現在／「かりん」選歌委員

【歌集】「鳥の風景」（牧羊社）、「光をわけて」（雁書館）、「秋草冬草」（ながらみ書房）、「佐波洋子歌集」（砂子屋書房）、「時のむこうへ」（角川書店）…第40回日本歌人クラブ賞受賞　など

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

法事客去って写真の母と我　高　津　長谷川みえ子

虐待のニュースに胸が痛む朝　米　本　西澤はるか

ウイッグに頭蒸されて夏は来ぬ　八千代台北　木村ゆり子

足裏へ湿布を貼って元気付け　八千代台北　石川　静子

うっかりが続きわたしに戻れない　萱　田　今井　ちゑ

客なのにセルフを強いるデジタル化　上高野　廣田　高児

だんだんと飲めなくなって老いの坂　高　津　大石ひさ子

夫にも聞こえるように独り言　勝田台　藤川　朝生